

予算特別委員会資料請求一覧(令和8年3月)

資料番号	件名	請求日	請求者	所管
1	過去における小田原市常勤の特別職職員の給与を減額した内容のわかる資料（平成21年度（2009年度）から今に至るまで）	3月3日	角田委員	職員課
2	令和8年度行財政改革における予定項目	3月3日	池田委員	企画政策課
3	エディブル・スクールヤードの実践者となり得ると想定している団体名の一覧	3月4日	宮原委員	地域政策課
4	小田原市自治会連合会別加入率の推移（平成10年度以降令和7年度までの10年刻み）	3月4日	岩田委員	地域政策課
5	本庁・支所等、代替郵便局、コンビニの証明書等発行件数の推移（2017年度～2025年度）	3月4日	岩田委員	戸籍住民課
6	災害用備蓄重要品目（14品目）の備蓄進捗状況（令和7年度）	3月4日	金崎委員	防災対策課
7	決算で令和6年度から過去10年間の一般会計負担金の推移	3月5日	大川（裕）委員	経営管理課
8	令和8年度から今後10年間の建設工事分の企業債の返還額の予定を踏まえた病院事業の収支計画	3月5日	大川（裕）委員	経営管理課
9	医師一人当たりの入院患者数と外来患者数、紹介率と逆紹介率（2015年度～2024年度）	3月5日	原副委員長	医事課
10	入院患者一人1日当たりの入院収益、病床稼働率、医業収支比率と経常収支比率（決算ベース 2015年度～2024年度）	3月5日	原副委員長	医事課
11	県内19市における一人あたりの保険料及び一般会計繰入金（2019年度～2026年度）	3月5日	岩田委員	保険課
12	自然環境の保全と活用に取り組む団体等の一覧	3月5日	金崎委員	環境政策課
13	扇町ドッグランのアンケート結果（令和6年～令和7年の2年分）	3月5日	原副委員長	環境保護課
14	犬の飼い方マナー教室実施回数 犬の参加頭数（2019年から2025年の7年分）	3月5日	原副委員長	環境保護課
15	地域支援型農業体制構築事業 援農している団体の一覧	3月6日	宮原委員	農政課
16	スクミリンゴガイの被害発生区域圏の年次変化（増減）の推移（2020年～2025年の6年分）	3月6日	岩田委員	農政課
17	本市と1市5町の火災・救急・立入検査別の件数の比率の推移（直近5年間）	3月9日	金崎委員	予防課 救急課
18	都市空間デザイン事業に係る決算額（令和7年度は予算額）と主な活動内容	3月9日	大川（晋）委員	都市政策課
19	子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）受入施設各住所、受入年齢、人数 開始から現在まで	3月10日	角田委員	子ども若者支援課
20	病児・病後児保育事業を実施する事業所の名称、住所、利用年齢、利用定員、開始時期、利用者数	3月10日	角田委員	保育課
21	教育相談指導学級（しろやま教室・マロニエ教室）、ことばの教室、コミュニケーションの教室フレンド、中学校通級指導教室、各利用者数の推移（令和2年度～令和7年度）	3月10日	金崎委員	教育指導課

予算特別委員会資料請求一覧(令和8年3月)

資料番号	件名	請求日	請求者	所管
22	校内支援室の設置状況と利用者数の推移(学校別)(令和6年度～令和7年度)	3月10日	金崎委員	教育指導課

過去における小田原市常勤の特別職職員の給与を減額した内容のわかる資料（平成 21 年度（2009 年度）から今に至るまで）

期間	内容	理由
H21.4.1～H23.3.31	給料月額（減額） 市長 ▲10%、副市長 ▲7%、教育長 ▲5%	厳しい財政状況に鑑みでの減額
H23.4.1～H24.5.23	給料月額（減額） 市長 ▲10%、副市長 ▲7%、教育長 ▲5%	厳しい財政状況に鑑みでの減額
H21.6	期末手当（減額） 市長、副市長、教育長 ▲0.2月（160/100→140/100）	国家公務員の給与制度に準じて期末手当の引下げ
H23.5～H23.7	給料月額（辞退） 所管副市長 ▲10%	不祥事に関する管理監督責任による減額
H23.7～H23.10	給料月額（減額） 市長 ▲10%	不祥事に関する管理監督責任による減額
H24.1～H24.2	給料月額（辞退） 所管副市長 ▲10%	不祥事に関する管理監督責任による減額
H24.1～H24.2	給料月額（減額） 市長 ▲10%	不祥事に関する管理監督責任による減額
H24.4	給料月額（辞退） 所管副市長 ▲40%	不祥事に関する管理監督責任による減額
H24.4	給料月額（減額） 市長 ▲50%	不祥事に関する管理監督責任による減額
H24.7.1～H26.3.31	給料月額（減額） 市長 ▲20%、副市長 ▲15%、教育長 ▲10%	厳しい財政状況に鑑みでの減額
H26.4.1～H28.5.23	給料月額（減額） 市長 ▲20%、副市長 ▲15%、教育長 ▲10%	厳しい財政状況に鑑みでの減額
H26.5～H26.8	給料月額（辞退） 所管副市長 ▲10%	不祥事に関する管理監督責任による減額
H26.7～H26.10	給料月額（減額） 市長 ▲10%	不祥事に関する管理監督責任による減額
H29.3～H29.5	給料月額（減額） 市長 ▲10%	市民ホールの施設整備状況の遅滞
R元.12	給料月額（辞退） 所管副市長 ▲30%	不祥事に関する管理監督責任による減額
R2.1	給料月額（減額） 市長 ▲30%	不祥事に関する管理監督責任による減額
R2.6～R2.8	給料月額（減額） 市長 ▲50%、副市長 ▲20%、教育長 ▲10%	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う地域経済の厳しい状況に鑑みて減額
R6.4	給料月額（辞退） 副市長 ▲30%	不祥事に関する管理監督責任による減額
R6.4	給料月額（減額） 市長 ▲30%	不祥事に関する管理監督責任による減額

令和 8 年度行財政改革における予定項目

<新たな歳入確保策の検討>

※ 令和 8 年度「新たな財源創出事業（予算額 0 円）」として位置付け。

1 取組内容

あらゆる市有資産等を利活用し、新たな財源の創出に繋げていく。具体的には、市施設や市媒体活用による広告収入（ネーミングライツ 含む）、不用品売払い、駐車場の有料化など、全庁的に推進していく。

また、独自課税の導入についても検討していく。

2 主な取組項目

(1) 広告収入の拡大（ネーミングライツ含む）

公共施設やパンフレットなど、市が保有するあらゆる施設や媒体において、広告を募集し、新たな歳入を確保するもの。

公共施設へのネーミングライツ（命名権）制度の導入を検討する。

(2) 不用品の売払い

これまで処分していた不用品（備品など）について、インターネットサービス（フリマアプリなど）を活用することで、新たな歳入を確保するもの。

(3) 公共施設駐車場の有料化

施設の性質や施設周辺の状況、市民の利用実態などを勘案しつつ、財源確保の観点から、公共施設における駐車場の有料化に向けた検討を進める。

(4) 独自課税の導入

他都市にて導入がされている宿泊税の導入について、具体的に検討を進める。

エディブル・スクールヤードの実践者となり得ると想定している団体名の一覧

No.	団体名	備考
1	上府中地区まちづくり委員会 農業指導プロジェクトチーム	エディブル・スクールヤード 妄想会議※参加団体
2	万年地区青年会連合	
3	あきさわ園	
4	太田農園	
5	小田原有機の里づくり協議会	
6	かながわ西湘農業協同組合	
7	NPO 法人こころみ	
8	シニアネットワークおだわら&あしがら	
9	NPO 法人子どもと生活文化協会	
10	新宿自治会	

実践現場での活動状況や見込みを把握できている団体のみ記載。上記以外に小学校や保育園などでの活動の動きがある。

※エディブル・スクールヤード妄想会議

令和7年3月及び7月に開催し、本事業に関連する市内の実践者らとともに、既に展開されている多様な実践の共有や、今後の施策の方向性などに関する意見交換を実施。

小田原市自治会連合会別加入率の推移（平成 10 年度以降令和 7 年度までの 10 年刻み）

年度	世帯数	加入世帯	加入率（%）
平成10年度	69,420	62,509	90.0
平成20年度	76,787	63,779	83.1
平成30年度	80,764	61,584	76.3
令和7年度	85,965	57,653	67.1

連合会	平成30年度			令和7年度		
	世帯数	加入世帯	加入率（%）	世帯数	加入世帯	加入率（%）
緑	1,594	1,766	110.8	1,808	1,910	105.6
新玉	1,472	1,374	93.3	1,451	1,312	90.4
万年	1,014	910	89.7	1,027	860	83.7
幸	1,569	1,444	92.0	1,672	1,411	84.4
十字	1,287	1,138	88.4	1,409	1,094	77.6
片浦	639	546	85.4	627	520	82.9
早川	1,901	996	52.4	1,905	868	45.6
大窪	2,554	2,018	79.0	2,480	1,727	69.6
山王網一色	2,020	1,478	73.2	2,038	1,208	59.3
足柄	3,336	2,589	77.6	3,567	2,348	65.8
芦子	4,284	3,592	83.8	4,381	3,291	75.1
二川	2,441	2,026	83.0	2,459	1,951	79.3
久野	4,676	3,100	66.3	5,037	2,786	55.3
東富水	5,848	4,455	76.2	6,391	3,909	61.2
富水	6,027	4,606	76.4	6,611	4,225	63.9
桜井	5,223	3,978	76.2	5,580	3,789	67.9
酒匂・小八幡	6,087	4,710	77.4	6,405	4,368	68.2
下府中	6,670	4,712	70.6	7,236	4,588	63.4
富士見	2,404	1,548	64.4	2,655	1,634	61.5
豊川	4,188	2,804	67.0	4,615	2,740	59.4
上府中	3,624	2,818	77.8	4,214	2,808	66.6
曾我	855	653	76.4	841	571	67.9
下曾我	1,448	992	68.5	1,486	904	60.8
国府津	5,016	3,978	79.3	5,269	3,851	73.1
前羽	1,384	891	64.4	1,358	751	55.3
下中	3,203	2,462	76.9	3,443	2,229	64.7
計	80,764	61,584	76.3	85,965	57,653	67.1

※ 多くの商業者が自治会に加入している地区がある。

本庁・支所等、代替郵便局、コンビニの証明書等発行件数の推移 (2017年度～2025年度)

証明書コンビニ交付サービス、証明書郵便局交付サービスにおける証明書交付件数
(郵便局交付サービスは郵便局ごとの交付件数) (2018年(平成30年)度以降)
各住民窓口、市民窓口における交付件数 (2017年(平成29年)度以降)

(単位:件)

		平成29年 (2017年)度	平成30年 (2018年)度	令和元年 (2019年)度	令和2年 (2020年)度	令和3年 (2021年)度	令和4年 (2022年)度	令和5年 (2023年)度	令和6年 (2024年)度	令和7年 (2025年)度 1月末
窓口		187,775	191,290	216,537	208,300	195,723	194,009	182,455	182,849	142,350
内 訳	本庁(戸籍住民課)	105,375	109,940	118,125	113,049	110,653	110,910	107,571	113,659	90,237
	マロニエ住民窓口	42,166	40,995	49,878	48,406	43,249	41,877	37,519	34,484	26,967
	いずみ住民窓口	13,493	13,811	16,958	17,754	15,960	14,770	13,274	12,818	9,367
	こゆるぎ住民窓口	6,238	5,959	6,029	6,296	5,432	5,820	4,930	4,837	3,723
	アークロード市民窓口	20,503	20,585	25,547	22,795	20,429	20,632	19,161	17,051	12,056
廃止窓口		43,843	37,865	0						
内 訳	大窪支所	4,276	3,437							
	早川支所	2,199	2,255							
	豊川支所	7,618	6,392							
	上府中支所	3,161	2,736							
	下曾我支所	2,639	2,256							
	片浦支所	539	483							
	曾我支所	1,551	1,352							
	中央連絡所	8,778	7,887							
	国府津駅前窓口コーナー	3,845	3,335							
	酒匂窓口コーナー	2,972	2,324							
桜井窓口コーナー	6,265	5,408								
郵便局10局		0	253	2,304	1,990	1,674	1,286	1,063	763	539
内 訳	小田原板橋郵便局		40	360	253	233	196	198	140	79
	小田原早川郵便局		31	224	219	175	132	122	86	57
	小田原成田郵便局		40	396	307	253	179	143	93	77
	下曾我郵便局		27	325	239	199	142	81	64	43
	根府川郵便局		17	162	137	111	109	139	84	69
	曾我郵便局		12	41	35	25	23	12	13	7
	小田原郵便局		20	181	170	111	93	69	60	38
	小田原国府津郵便局		9	181	154	156	96	57	39	40
	酒匂郵便局		19	149	115	106	87	56	69	27
	栢山駅前郵便局		38	285	361	305	229	186	115	102
全てのコンビニエンスストア		0	482	3,947	8,005	14,474	22,541	32,324	37,052	30,670
内 訳	本庁サービス時間内 (8:30~17:00)		245	1,999	4,791	7,537	12,235	16,959	18,940	14,566
	本庁サービス時間外 (6:30~8:30、17:00~23:00) ※土日祝日否		237	1,948	3,214	6,937	10,306	15,365	18,112	16,104
計		231,618	229,890	222,788	218,295	211,871	217,836	215,842	220,664	173,559

※旧支所等は平成31年(2019年)3月15日をもって業務終了
 ※郵便局・コンビニ交付サービスは平成31年(2019年)1月15日から開始
 ※郵便局・コンビニエンスストアは課税(非課税)証明書を除く件数

災害用備蓄重要品目（14 品目）の備蓄進捗状況（令和7年度）

No.	品名	現有数	計画数量	充足率
1	食料	265,490 食	227,640 食	117%
2	ミルク	9300	3900	238%
3	毛布等	26,322 枚	15,270 枚	172%
4	大人用おむつ	6,172 枚	3,050 枚	202%
5	乳児・小児用おむつ	22,306 枚	9,770 枚	228%
6	生理用品	35,250 枚	16,440 枚	214%
7	携帯トイレ	327,800 枚	351,000 枚	93%
8	トイレットペーパー	12,688 巻	24,900 巻	51%
9	自動ラップ式トイレ一式	116 セット	268 セット	43%
10	ほ乳瓶	1,020 本	1,950 本	52%
11	保存水	3,600 本	25,420 本	14%
12	簡易ベッド	775 張	15,270 台	5%
13	避難所用パーティション	315 張	8,000 張	4%
14	災害用ウェットティッシュ	0 セット	25,420 セット	0%

予算特別委員会請求資料 7 経営管理課 予算書 481頁、493頁

決算で令和6年度から過去10年間の一般会計負担金の推移

(単位：円)

区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
収益的収入	1,300,000,000	1,450,000,000	1,450,000,000	1,420,000,000	1,400,000,000
資本的収入	0	0	0	0	0
合計	1,300,000,000	1,450,000,000	1,450,000,000	1,420,000,000	1,400,000,000

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収益的収入	1,460,000,000	1,400,000,000	1,400,000,000	1,400,000,000	1,200,000,000
資本的収入	0	0	2,000,000	29,085,000	100,000,000
合計	1,460,000,000	1,400,000,000	1,402,000,000	1,429,085,000	1,300,000,000

令和8年度から今後10年間の建設工事分の
企業債の返還額の予定を踏まえた病院事業の収支計画

(収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17
		3月補正	年度 3月補正	年度 当初予算	年度 (2027)	年度 (2028)	年度 (2029)	年度 (2030)	年度 (2031)	年度 (2032)	年度 (2033)	年度 (2034)	年度 (2035)
収益的 収支	1. 医業収益 a	14,320	14,275	15,383	15,601	15,650	15,697	15,685	15,672	15,660	15,648	15,635	
	(1) 料金収入	13,974	13,864	14,857	15,075	15,124	15,171	15,159	15,146	15,134	15,122	15,109	
	うち入院収益	10,619	10,617	10,955	11,197	11,270	11,342	11,362	11,381	11,401	11,421	11,440	
	うち外来収益	3,355	3,247	3,902	3,878	3,854	3,829	3,797	3,765	3,733	3,701	3,669	
	(2) その他	346	411	526	526	526	526	526	526	526	526	526	
	うち他会計繰入金	243	243	243	243	243	243	243	243	243	243	243	
	2. 医業外収益	1,194	1,127	1,769	1,769	1,767	1,757	1,738	1,715	1,698	1,681	1,664	
	(1) 他会計繰入金	957	762	1,502	1,502	1,500	1,490	1,471	1,448	1,431	1,414	1,397	
	(2) その他	237	365	267	267	267	267	267	267	267	267	267	
	経常収益 (A)	15,514	15,402	17,152	17,370	17,417	17,454	17,423	17,387	17,358	17,329	17,299	
	1. 医業費用 b	15,862	20,540	17,792	17,851	18,001	18,040	16,694	16,733	16,718	16,768	16,838	
	(1) 職員給与費	8,354	8,741	8,902	8,911	8,938	8,966	8,959	8,951	8,944	8,937	8,930	
	(2) 減価償却費	907	2,746	2,896	2,896	3,017	3,017	1,681	1,731	1,781	1,841	1,921	
(3) その他	6,601	9,053	5,994	6,044	6,046	6,057	6,054	6,051	5,993	5,990	5,987		
2. 医業外費用	981	893	1,386	1,386	1,387	1,365	1,328	1,211	1,177	1,142	1,108		
経常費用 (B)	16,843	21,433	19,178	19,237	19,388	19,405	18,022	17,944	17,895	17,910	17,946		
経常損益 (A)-(B) (C)	▲ 1,329	▲ 6,031	▲ 2,026	▲ 1,867	▲ 1,971	▲ 1,951	▲ 599	▲ 557	▲ 537	▲ 581	▲ 647		
1. 特別利益 (D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2. 特別損失 (E)	36	295	2,894	36	36	36	36	36	36	36	36		
特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 36	▲ 295	▲ 2,894	▲ 36	▲ 36	▲ 36	▲ 36	▲ 36	▲ 36	▲ 36	▲ 36		
純損益 (C)+(F)	▲ 1,365	▲ 6,326	▲ 4,920	▲ 1,903	▲ 2,007	▲ 1,987	▲ 635	▲ 593	▲ 573	▲ 617	▲ 683		
未処分利益剰余金(各種積立金含む)	8,072	1,746	▲ 3,174	▲ 5,078	▲ 7,085	▲ 9,072	▲ 9,707	▲ 10,301	▲ 10,874	▲ 11,491	▲ 12,174		
資金保有額(現金・預金)	8,887	4,318	4,180	3,845	3,264	2,385	1,357	876	727	835	1,072		
医業収支比率	$\frac{a}{b} \times 100$	90.3%	69.5%	86.5%	87.4%	86.9%	87.0%	94.0%	93.7%	93.7%	93.3%	92.9%	
経常収支比率	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$	92.1%	71.9%	89.4%	90.3%	89.8%	89.9%	96.7%	96.9%	97.0%	96.8%	96.4%	

(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17
		3月補正	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
			3月補正	当初予算	(2027)	(2028)	(2029)	(2030)	(2031)	(2032)	(2033)	(2034)	(2035)
資本的 収入	1. 企業債		16,061	6,615	1,249	1,311	446	0	0	0	0	0	0
	2. 他会計繰入金		0	295	887	955	967	1,071	1,239	783	756	697	685
	3. その他		3,555	4	11	11	11	8	11	11	11	8	11
	収入計 (a)		19,616	6,914	2,147	2,277	1,424	1,079	1,250	794	767	705	696
資本的 支出	1. 建設改良費		20,977	7,456	1,318	1,383	484	250	250	250	300	400	300
	2. 企業債償還金		450	693	1,775	2,195	2,505	2,712	3,048	2,136	1,798	1,395	1,371
	3. その他		22	14	26	26	26	26	26	26	26	26	26
	支出計 (b)		21,449	8,163	3,119	3,604	3,015	2,988	3,324	2,412	2,124	1,821	1,697
差引不足額 (a)-(b)			▲ 1,833	▲ 1,249	▲ 972	▲ 1,327	▲ 1,591	▲ 1,909	▲ 2,074	▲ 1,618	▲ 1,357	▲ 1,116	▲ 1,001

【収支計画作成の前提条件】

- (1) 令和7年8月に厚生文教常任委員会において示した収支計画を元に、令和7年度3月補正予算及び令和8年度当初予算の状況等を反映した。
- (2) 医業収益については、経営強化プランの目標値及び令和7年度実績を参考に単価を設定して試算した。また、想定が難しい今後の診療報酬改定等の伴う収益増の要素は、考慮していない。
- (3) 医業費用については、想定が難しい今後の給与改定による人件費の増や急激な物価上昇などの費用増の要素は、考慮していない。
- (4) 企業債の元利償還金については、最新の借入利率を反映して試算した。
- (5) 収支計画は各年度の決算額を試算したものだが、令和7年度及び令和8年度は予算額を反映したため、決算時には資金保有額等の経営指標は、この計画を上回る可能性が高い。

医師一人当たりの入院患者数と外来患者数、紹介率と逆紹介率
(2015年度～2024年度)

年度	医師数 ※	年間延べ患者数 (人)			医師一人当たりの患者数 (人)			紹介率 (%)	逆紹介率 (%)
		入院	外来	合計	入院	外来	合計		
平成27年度 (2015年度)	92	119,602	267,022	386,624	1,300	2,902	4,202	63.7	67.4
平成28年度 (2016年度)	90	124,853	263,068	387,921	1,387	2,923	4,310	68.5	75.1
平成29年度 (2017年度)	92	125,693	269,120	394,813	1,366	2,925	4,291	69.0	71.7
平成30年度 (2018年度)	91	126,578	252,910	379,488	1,391	2,779	4,170	70.5	79.4
令和元年度 (2019年度)	100	131,644	249,864	381,508	1,316	2,499	3,815	73.0	84.4
令和2年度 (2020年度)	100	104,613	201,274	305,887	1,046	2,013	3,059	73.3	89.7
令和3年度 (2021年度)	102	123,149	229,390	352,539	1,207	2,249	3,456	72.4	85.9
令和4年度 (2022年度)	105	139,504	253,430	392,934	1,329	2,414	3,743	71.7	81.5
令和5年度 (2023年度)	107	134,314	262,736	397,050	1,255	2,455	3,710	78.9	89.3
令和6年度 (2024年度)	105	138,038	269,805	407,843	1,315	2,570	3,885	80.4	95.0

※ 医師数は毎年4月1日現在の人数

入院患者一人1日当たりの入院収益、病床稼働率、医業収支比率と経常収支比率
(決算ベース 2015年度～2024年度)

年度	入院患者一人1日 当たりの入院収益 (円)	病床稼働率 (%)	医業収支比率 (%)	経常収支比率 (%)
平成27年度 (2015年度)	62,790	78.4	89.1	97.6
平成28年度 (2016年度)	64,199	82.0	92.5	101.8
平成29年度 (2017年度)	64,189	82.6	93.6	102.9
平成30年度 (2018年度)	66,292	83.2	93.0	101.6
令和元年度 (2019年度)	67,178	86.9	93.2	100.8
令和2年度 (2020年度)	73,480	68.8	83.9	96.2
令和3年度 (2021年度)	76,528	80.9	95.0	103.9
令和4年度 (2022年度)	76,576	91.7	105.2	114.2
令和5年度 (2023年度)	79,474	88.6	105.4	112.2
令和6年度 (2024年度)	79,024	91.0	100.6	105.4

県内19市における一人あたりの保険料及び一般会計繰入金（2019年度～2026年度）

【保険料】

（単位：円）

保険者名	2019年度 (令和元年度)		2020年度 (令和2年度)		2021年度 (令和3年度)		2022年度 (令和4年度)		2023年度 (令和5年度)		2024年度 (令和6年度)		2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)			
	一人あたり保険料(医療分+支援分)																一人あたり保険料 (子ども・子育て分)	
	順位	金額	順位	金額														
小田原市	(9)	92,008	(8)	94,135	(11)	90,215	(8)	93,833	(6)	101,394	(9)	104,359	(9)	105,539	(9)	114,240	(14)	3,444
横浜市	(6)	97,173	(3)	98,641	(5)	99,419	(4)	100,843	(4)	106,512	(4)	115,504	(2)	117,307	(6)	119,568	(8)	3,690
川崎市	(1)	107,737	(1)	118,634	(4)	103,921	(3)	103,743	(1)	123,638	(1)	128,142	(1)	131,444	(2)	136,585	(5)	3,834
横須賀市	(13)	86,222	(12)	90,362	(3)	105,580	(14)	89,341	(14)	91,406	(15)	98,550	(10)	105,277	(17)	104,232	(17)	3,031
平塚市	(14)	86,163	(11)	90,409	(14)	86,618	(12)	91,092	(7)	100,079	(17)	97,979	(17)	95,974	(16)	104,757	(13)	3,479
鎌倉市	(7)	96,214	(4)	98,301	(1)	107,736	(2)	106,231	(2)	118,998	(2)	124,981	(4)	113,353	(4)	121,855	(3)	4,357
藤沢市	(2)	106,457	(2)	99,162	(2)	106,974	(1)	111,387	(3)	109,688	(3)	116,004	(3)	115,570	(1)	138,647	(1)	5,143
茅ヶ崎市	(5)	102,123	(5)	98,137	(9)	91,919	(13)	90,007	(9)	97,950	(12)	101,498	(13)	103,824	(13)	111,080	(11)	3,523
逗子市	(10)	91,644	(10)	91,283	(16)	78,966	(10)	92,614	(13)	94,247	(13)	100,885	(14)	102,014	(8)	116,080	(4)	4,298
相模原市	(16)	82,641	(13)	90,076	(13)	87,866	(11)	91,960	(10)	95,826	(11)	102,193	(11)	105,231	(12)	112,239	(12)	3,501
三浦市	(3)	103,060	(6)	98,019	(8)	94,265	(5)	99,788	(5)	104,912	(5)	108,856	(5)	110,042	(3)	125,871	(2)	4,449
秦野市	(18)	76,913	(15)	81,868	(18)	68,925	(16)	85,838	(17)	84,261	(16)	98,019	(16)	97,401	(18)	98,391	(9)	3,660
厚木市	(8)	93,426	(7)	94,326	(7)	94,326	(7)	94,326	(11)	94,776	(14)	99,276	(18)	94,001	(15)	105,576	(19)	3,000
大和市	(11)	89,147	(14)	89,904	(15)	80,581	(18)	80,296	(15)	86,780	(8)	104,644	(15)	101,113	(14)	110,238	(18)	3,006
伊勢原市	(17)	78,561	(16)	79,566	(17)	78,874	(17)	84,531	(18)	80,506	(18)	97,742	(12)	104,811	(11)	112,809	(7)	3,765
海老名市	(12)	86,538	(17)	78,989	(10)	90,712	(9)	93,142	(12)	94,514	(10)	102,956	(6)	109,854	(10)	114,228	(6)	3,791
座間市	(15)	86,127	(18)	78,734	(12)	88,408	(15)	87,447	(16)	85,321	(7)	105,797	(8)	107,833	(5)	121,759	(10)	3,561
南足柄市	(4)	102,557	(9)	92,703	(6)	96,967	(6)	98,773	(8)	98,635	(6)	106,567	(7)	109,322	(7)	117,345	(15)	3,414
綾瀬市	(19)	74,010	(19)	72,953	(19)	68,736	(19)	72,741	(19)	76,386	(19)	76,551	(19)	86,404	(19)	88,832	(16)	3,332

*本資料は各市の当初予算編成段階のデータに基づく。
*介護分については、対象が全被保険者ではないため除いた。

県内19市における一人あたりの保険料及び一般会計繰入金（2019年度～2026年度）

【一般会計繰入金】

（単位：円）

保険者名	一人あたり 一般会計繰入金															
	2019年度 (令和元年度)		2020年度 (令和2年度)		2021年度 (令和3年度)		2022年度 (令和4年度)		2023年度 (令和5年度)		2024年度 (令和6年度)		2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)	
	順位	金額														
小田原市	(11)	40,767	(9)	39,500	(8)	42,092	(9)	40,921	(10)	42,216	(7)	49,003	(4)	49,560	(4)	50,314
横浜市	(7)	44,818	(8)	41,451	(9)	40,986	(7)	43,057	(8)	44,068	(11)	47,733	(2)	53,441	(2)	56,686
川崎市	(10)	41,558	(6)	43,293	(6)	43,822	(6)	43,274	(2)	57,387	(5)	54,089	(11)	46,817	(6)	49,838
横須賀市	(16)	35,652	(15)	36,608	(12)	38,110	(14)	36,674	(11)	40,144	(4)	55,745	(12)	46,326	(11)	48,213
平塚市	(13)	38,832	(16)	36,558	(14)	35,886	(13)	37,278	(13)	38,158	(13)	43,072	(14)	43,592	(14)	43,678
鎌倉市	(3)	47,010	(3)	45,105	(11)	39,473	(11)	39,766	(12)	39,217	(10)	47,741	(13)	44,402	(10)	48,277
藤沢市	(15)	38,347	(14)	37,555	(13)	37,491	(12)	37,933	(9)	42,590	(9)	48,264	(9)	47,441	(7)	49,167
茅ヶ崎市	(18)	31,954	(18)	32,580	(17)	33,227	(18)	31,394	(19)	33,545	(19)	34,959	(19)	36,816	(19)	39,760
逗子市	(9)	41,595	(5)	44,259	(4)	46,122	(4)	44,275	(7)	45,036	(8)	48,386	(8)	47,831	(12)	47,253
相模原市	(4)	46,490	(10)	39,487	(15)	35,201	(15)	36,542	(14)	37,929	(15)	40,656	(16)	41,568	(16)	42,444
三浦市	(17)	34,095	(17)	35,299	(16)	35,033	(16)	35,546	(16)	37,311	(16)	40,150	(15)	42,684	(15)	42,505
秦野市	(1)	53,853	(4)	44,299	(1)	53,095	(8)	41,541	(6)	49,540	(6)	50,727	(6)	48,424	(8)	48,459
厚木市	(8)	42,161	(12)	37,758	(19)	30,634	(19)	29,888	(17)	35,727	(12)	46,686	(7)	48,281	(9)	48,453
大和市	(12)	40,548	(11)	38,689	(7)	43,056	(2)	45,897	(5)	50,171	(14)	42,141	(10)	46,842	(13)	45,653
伊勢原市	(14)	38,748	(13)	37,636	(10)	39,632	(5)	44,172	(4)	51,228	(3)	56,017	(1)	57,545	(1)	57,792
海老名市	(2)	53,818	(1)	49,352	(3)	50,567	(3)	44,506	(3)	51,948	(2)	58,372	(5)	49,368	(3)	52,793
座間市	(6)	45,884	(7)	42,044	(5)	44,802	(10)	40,426	(18)	33,711	(18)	35,890	(18)	37,717	(18)	39,961
南足柄市	(19)	31,323	(19)	32,454	(18)	32,683	(17)	33,245	(15)	37,390	(17)	36,787	(17)	40,670	(17)	40,463
綾瀬市	(5)	46,253	(2)	46,760	(2)	52,292	(1)	51,181	(1)	62,714	(1)	60,693	(3)	53,018	(5)	50,269

*本資料は各市の当初予算編成段階のデータに基づく。

自然環境の保全と活用に取り組む団体等の一覧

<おだわら環境志民ネットワーク>

1	あしがら冬みず田んぼの会
2	一般社団法人 足柄茶ラボ
3	ウォータースタンド株式会社 静岡営業所
4	美しい久野里地里山協議会
5	海濱け竹垣竹林再生プロジェクト
6	小田原SDGs×ヨガ気功
7	小田原オリーブ園
8	おだわら環境志民ネットワーク個人会員（43名）
9	小田原市環境ボランティア協会
10	小田原箱根商工会議所
11	小田原森のなかま
12	おだわられもんラボ
13	おひるね生ごみハーブ畑
14	株式会社 REXEV
15	株式会社 T-FORESTRY
16	株式会社 小田原柑橘倶楽部
17	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ 神奈川事務所
18	株式会社ミルボン
19	きらくなのうえん隊
20	合同会社 Path Being
21	合同会社 10decades
22	合同会社 小田原かなごてファーム
23	菜幸
24	酒匂海岸保護の会
25	酒匂川水系のメダカと生息地を守る会
26	ジビエ龍
27	ジャパン・マルチハンターズ株式会社
28	総合型地域スポーツクラブ小田原フレンドリークラブ
29	相洋高等学校 理科部
30	曾我山応援隊

31	地球と子どもたちに明るい未来を残そう
32	特定非営利活動法人 和の文化塾
33	日本野鳥の会・サンバプロジェクトチーム
34	畠山環境技術士事務所
35	プラごみゼロチームおだわら
36	ブリの森づくりプロジェクト
37	まこもめぐり
38	めだかサポーターの会
39	モリンガグリーンアース・太陽エネルギー振興会
40	有限会社 小田原植木
41	有限会社 近藤製作所
42	有限会社ハミング・アーバリーズ
43	FM小田原 株式会社
44	KAERU Workshop
45	NPO法人 小田原食とみどり
46	NPO法人 小田原山盛の会
47	NPO法人 チルドリン
48	NPO法人MOTTAI
49	NPO法人おだわら虹の会 ありんこホーム
50	NPO法人 SoELa
51	NPO法人 おだわらイノシカネット
52	Recovery and Reload
53	Save the earth in かいせい
54	Second brave
55	Team MAMMA MemmA!

<その他の環境部が事務局を担当する団体>

1	小田原生（いき）ごみクラブ
2	酒匂川水系保全協議会

扇町ドッグランのアンケート結果（令和6年～令和7年の2年分）

1 令和6年度アンケート結果（集計）

（令和6年3月から5月実施）

利用した犬の体重

問 1	回答数	割合
小型・中型犬	265	72%
大型犬	101	28%
合計	366	

年間パスの料金は

問 5	回答数	割合
2,000円	162	65%
3,000円	75	30%
5,000円以上	12	5%

小中型と大型の区分け

問 7	回答数
曜日	158
時間	29
月	3
分割	84
新設	87
その他	5

ドッグランの感想

問 2	回答数	割合
良い	345	94%
悪い	21	6%

月に何回利用するか

問 6	回答数
1	45
2	107
3	82
4	83
5	18
6	5
7	0
8	13
9	0
10	13

有料でも利用するか

問 3	回答数	割合
はい	249	68%
いいえ	117	32%

必要だと思った設備

問 8	回答数
芝生化	132
日よけ	114
水洗い場	49
アジリティ	19
トイレ	27
その他	25
ベンチ	5
うんちBOX	4
水道	3
自動販売機	1

1回の利用料金は

問 4	回答数	割合
300円	206	83%
500円	40	16%
1,000円以上	3	1%

「その他」で寄せられた設備以外の声

- ・雨天後のぬかるみ対策等
- ・会場への動線を短くする
- ・日陰（屋根付きイス）
- ・夏季の早朝オープン
- ・特になし
- ・早朝開始
- ・全天候型
- ・夏季は終了時間を延長
- ・夜間開催

★扇町クリーンセンタードッグランに係るアンケート★

問1 ご利用した飼い犬の体重について教えてください。

- 体重10kg未満 (小型・中型犬) 体重10kg以上 (大型犬)

問2 扇町クリーンセンターのドッグランの感想を教えてください。

- 良い 悪い (悪い理由: _____)

問3 扇町クリーンセンターのドッグランは、有料でも利用しますか。

- はい (問4にお進みください) _____
 いいえ (問6にお進みください) _____

問4 1回の利用料金として、どの程度であれば利用しますか。 ←

- 300円 500円 1,000円以上

問5 通年利用可能な年間パスポートの料金は、どの程度が良いですか。

- 2,000円 3,000円 5,000円以上

問6 月に何回程度、利用したいと思いますか。 ←

- (_____) 回程度

問7 小型・中型犬と大型犬の分けは、どの方法が1番良いですか。

- 曜日で切り替える (今回と同様) 時間で切り替える (午前、午後など)
 月毎で切り替える (〇月は大型犬専用利用月など)
 小型・中型犬エリアと大型犬エリアに分割する
 現在のエリアは大型犬エリアとし、当施設内に新たに小型・中型犬エリア (150㎡程度) を設ける
 その他 (_____)

問8 本ドッグランを利用して、最も必要だと思った設備を一つだけ選んでください。

- ドッグランエリアの芝生化 ドッグランエリアの日よけ
 犬の水洗い場 犬用遊具 (アジリティ)
 飼い主用トイレの増設
 その他 (具体的な設備や要望を記入してください)

[_____]

2 令和7年度アンケート結果（集計）

（第1回：令和7年4月から12月実施、第2回：令和8年1月から実施）

◇第1回アンケート集計

（1）飼い犬の今の体重（区分）

	回答数	割合(%)
4kg未満	28	29.7
4kg以上10kg未満	26	27.7
10kg以上25kg未満	31	33.0
25kg以上	9	9.6
合計	94	

（2）利用した区分

	回答数	割合(%)
小型・中型犬（10kg未満）	54	57.4
大型犬（10kg以上）	40	42.6
合計	94	

（3）『小型・中型犬』と『大型犬』の区分け

	回答数	割合(%)
10kgのままで良い	56	59.6
15kgが良い	28	29.7
区分けしなくて良い	9	9.6
無回答	1	1.1
合計	94	

【主な理由】

《10kgのままで良い》

- ・小型犬の中に入りたくないから。
- ・当日特に問題なかったから。
- ・15kgまでいると小型犬の飼い主としては不安だから。

《15kgが良い》

- ・小型犬と一緒に遊ぶのは怖いから。
- ・何かあった時に大型犬が悪くなるから。
- ・小型、中型犬にケガをさせてしまいそうで心配だから。

《区分けしなくて良い》

- ・小型犬でも大型犬好きがいるから。
- ・比較的空いているから。

(4) イスの数

	回答数	割合(%)
多すぎる	1	1.1
もう1-2基減らしてほしい	1	1.1
現状で十分	52	55.3
もう1-2基増やしてほしい	31	33.0
全く足りない	1	1.1
そもそもいない	2	2.1
無回答	6	6.3
合計	94	

(5) 日よけパラソルの数

	回答数	割合(%)
多すぎる	0	0.0
もう1-2基減らしてほしい	4	4.3
現状で十分	35	37.2
もう1-2基増やしてほしい	44	46.8
全く足りない	4	4.3
そもそもいない	1	1.1
無回答	6	6.3
合計	94	

(6) 「他の犬との交流で社会性を身に着けられる場」としての効果

	回答数	割合(%)
大いにある	62	66.0
多少はある	23	24.4
どちらでもない	2	2.1
あまりない	1	1.1
全くない	0	0.0
無回答	6	6.4
合計	94	

(7) 「飼い主同士の情報交換の場」としての効果

	回答数	割合(%)
大いにある	42	44.7
多少はある	38	40.4
どちらでもない	7	7.4
あまりない	1	1.1
全くない	0	0.0
無回答	6	6.4
合計	94	

(8) その他の意見

- ・今年小田原に引っ越してきて、無料で日除けやベンチまであるドッグランはとても貴重でありがたいです。最近暑い日が多いので年会費的なのを払ってでも夜間時間があったら良いなと思いました。
- ・できれば、平日もお願いします。
- ・常設のドッグランが少ないのもっと増やしてもらえると嬉しいです。終了時間をもう少し遅くしてもらえると嬉しいです。
- ・体重が10kg以上だとしても、小型犬に分類される犬種の場合は小型犬として登録して欲しい。営業時間を伸ばして欲しい。しらさぎ会館側からも入れるようにして欲しい。暑い時期はミスト的なものがあれば嬉しい。
- ・水場がドッグランの中にあるとありがたいと感じる。
- ・ふだん他の犬と交流したり安心して思いっきり走らせることがなかなかできないため、大変助かります。これからも利用したいと思います。
- ・酒匂川の空いているところにドッグランを作って欲しいです。(川遊びもできるような感じで)
- ・ボール可にしてほしい。週一回だと、利用する機会が少ない。もっと利用したい。
- ・私たち大型犬の飼い主が、どのようなドッグランを求めているかをアンケートしてほしい。



扇町クリーンセンタードッグランをご利用いただき、誠にありがとうございます。
ぜひ、あなたの率直なご意見をお寄せください。

・質問は全部で7問、回答は1～5分程度で終わります。
・このアンケートでは、個人を特定するための情報を収集しません、安心してご回答ください。
・アンケート結果は統計的に集計し市庁で公開することもありますが、個別の回答内容を特定できるようなことは公開いたしません。

1) 飼いだの今の体重(区分)を教えてください
(成犬体重ではなく、今の体重でご回答ください)

- 4kg未満(超小型犬種)
- 4kg以上10kg未満(小型犬種)
- 10kg以上25kg未満(中型犬種)
- 25kg以上(大型犬種)

2) 利用した区分を教えてください

- 小型・中型犬(土曜日、10kg未満)
- 大型犬(日曜日、10kg以上)

3) 市では、『小型・中型犬』と『大型犬』の区分けの体重を10kgで運用していますが、「今の10kgではなく、15kgで分けてはどうか」というご意見が寄せられました。これについてどう感じますか?

- 10kgのままが良い
- 15kgが良い
- 区分けしなくて良い

そう感じた理由を教えてください

裏面に続きます

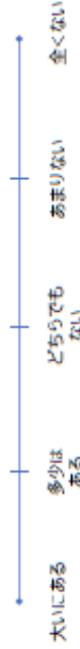
4) 「イスが欲しい」というご意見が寄せられたので、教基設置しました。数はいかがですか?

- 多すぎる
- もう1-2基減らしてほしい
- 現状で十分
- もう1-2基増やしてほしい
- 全く足りない
- そもそも足りない

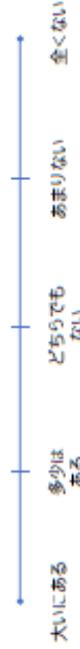
5) 「日よけが欲しい」というご意見があったので日よけテントを教基設置しました。数はいかがですか?

- 多すぎる
- もう1-2基減らしてほしい
- 現状で十分
- もう1-2基増やしてほしい
- 全く足りない
- そもそも足りない

6) 市では、ドッグランを「他の犬との交流で社会性を身に養われる場」と考えています。そのような効果はありますか?



7) 市では、ドッグランを「飼い主同士の情報交換の場」と考えています。そのような効果はありますか?



その他のご意見などがあれば教えてください。

以上で終了です、ご協力ありがとうございました。

◇第2回アンケート集計

1. 利用した区分	回答数	割合 (%)
小型・中型犬 (10kg未満)	63	64.3
大型犬 (10kg以上)	35	35.7
合計	98	

2. 有料化について	回答数	割合 (%)
賛成	28	28.6
どちらかといえば賛成	28	28.6
どちらともいえない	15	15.3
どちらかといえば反対	16	16.3
反対	11	11.2
合計	98	

3. 利用料金	回答数	割合 (%)
100円程度 (1,000円/年)	35	35.7
300円程度 (3,000円/年)	33	33.7
500円程度 (5,000円/年)	11	11.2
700円程度 (7,000円/年)	1	1.0
無料でなければ利用しない	9	9.2
その他	9	9.2
合計	98	

有料化賛否意見まとめ

	回答数	
賛成 どちらかといえば 賛成	56	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無料だとマナーの悪い利用者が増えるから。 ・ 整備費や人件費に費用がかかると思うから。 ・ 安全性に還元されると思うから。 ・ 有料でも存続してほしいから。 ・ サービスの向上につながるから。 ・ 利用しない人の税金を使いたくないから。
どちらともいえない	15	賛成寄り <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備の充実を期待する。 ・ 人件費を賄える。 ・ マナーの悪い人が来なくなる。
		反対寄り <ul style="list-style-type: none"> ・ 無料だから気軽に来れている。 ・ 有料にしたらどのように改善されるのか知りたい。
どちらかといえば 反対 反対	27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有料にするメリットがわからないから。 ・ 無料の方が手続きがスムーズだから。 ・ 物価高のご時世に有料化は優しくない。 ・ 有料だと行きにくいから。 ・ 現状の設備や運営方法では無料が妥当。

「どのようなドッグランがあれば利用したいか」意見まとめ

分類	件数	一部抜粋
設備	51	芝生、アジリティ、日陰、ごみ箱
立地	34	公園の一角、観光・商業施設に併設、駐車場がある、散歩のついでに利用できる
時間	31	平日、早朝、夜間、24時間、365日
ルール	13	体重の区分け、スタッフ常駐、おやつ・おもちゃの禁止（維持・解放両方の意見）
その他	10	気軽に利用できる、現状の扇町CCで十分

犬の飼い方マナー教室実施回数 犬の参加頭数 (2019 年から 2025 年の 7 年分)

開催時期：6 月、11 月の年 2 回

時 間：9 時、11 時、13 時開始の 3 部制

主 催：小田原獣医師会と小田原市の共催

開催回数、参加頭数、会場

年度	開催回数 (回)	参加頭数 (頭)	会場	備考
令和元年 (2019)	2	63	市役所西側駐車場	2 部制 第 1 回：10:00～11:30 第 2 回：14:00～15:30
令和 2 年 (2020)	1	25	市役所西側駐車場	コロナ禍の影響により 第 1 回 (6 月) は中止
令和 3 年 (2021)	2	55	市役所西側駐車場	
令和 4 年 (2022)	2	50	第 1 回：市役所西側駐車場 第 2 回：扇町クリーンセンター	参加した犬の鳴き声に対する近隣からの苦情により会場変更
令和 5 年 (2023)	2	43	扇町クリーンセンター	
令和 6 年 (2024)	2	61	扇町クリーンセンター	
令和 7 年 (2025)	2	38	扇町クリーンセンター	

※令和元年度のみ「1 日 2 部制」で、他の年度は「1 日 3 部制」

地域支援型農業体制構築事業 援農している団体の一覧

【市と業務委託契約を締結したことがある団体】

農地活！片浦
そがやまみらいプラン

【小田原市民学校専門課程「地域の生産力を高める」協力団体】

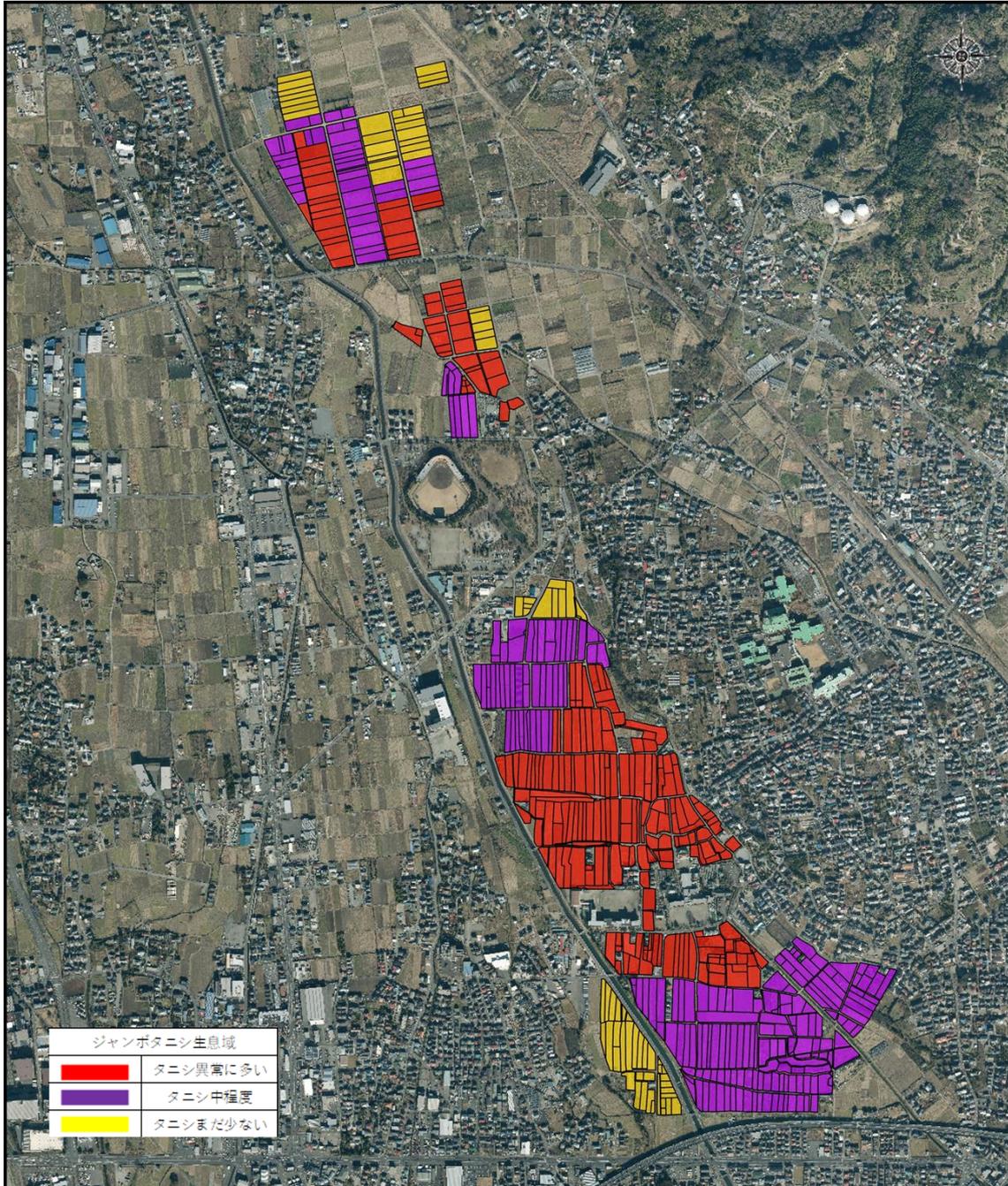
農地活！片浦
そがやまみらいプラン
下曾我応援団ぷらむ

【農作業のイベントの名義後援をしたことがある団体】

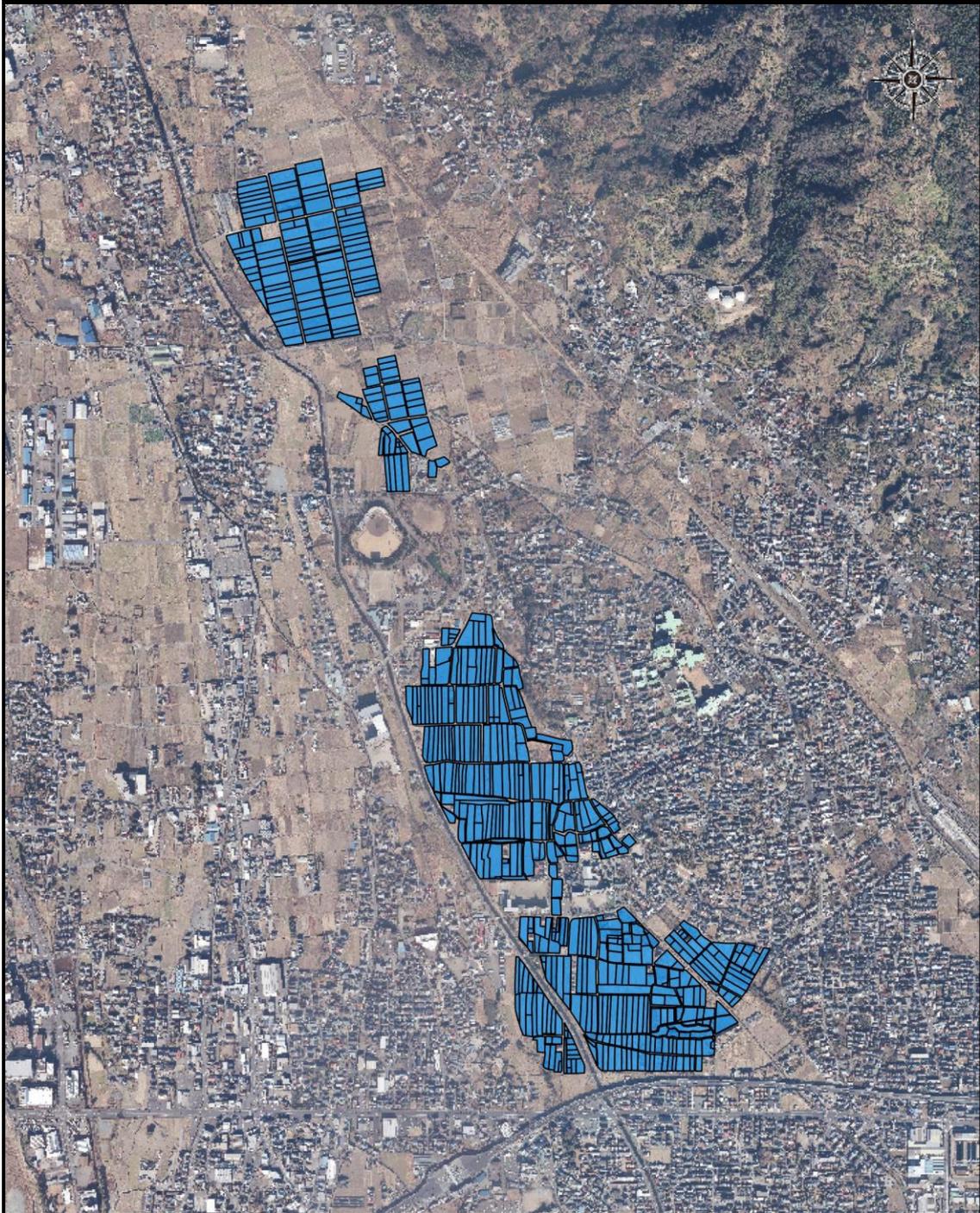
田んぼの恵を感じる会
そがやまみらいプラン

スクミリンゴガイの被害発生区域圏の年次変化（増減）の推移（2020年～2025年の6年分）

2020年度

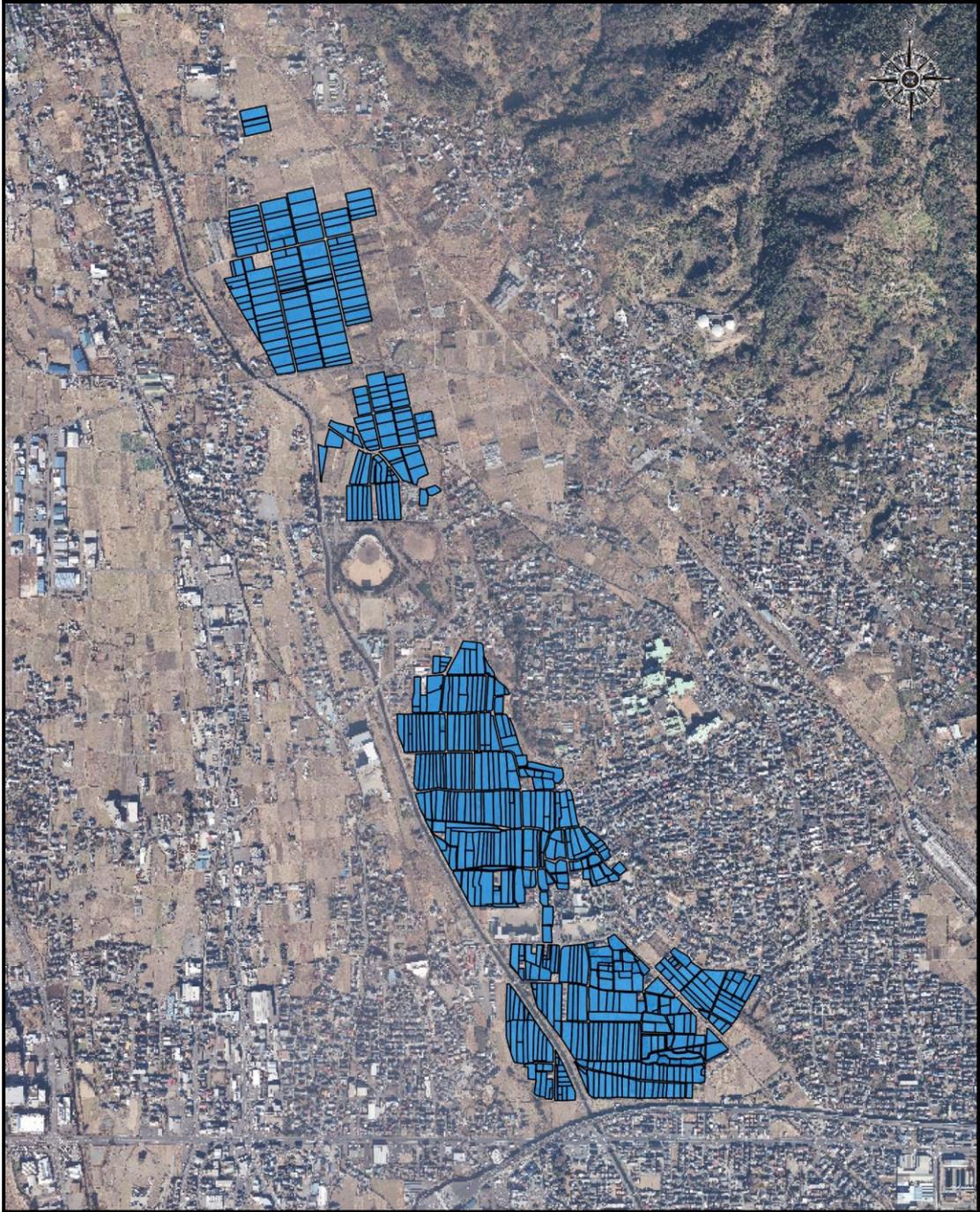


2021 年度



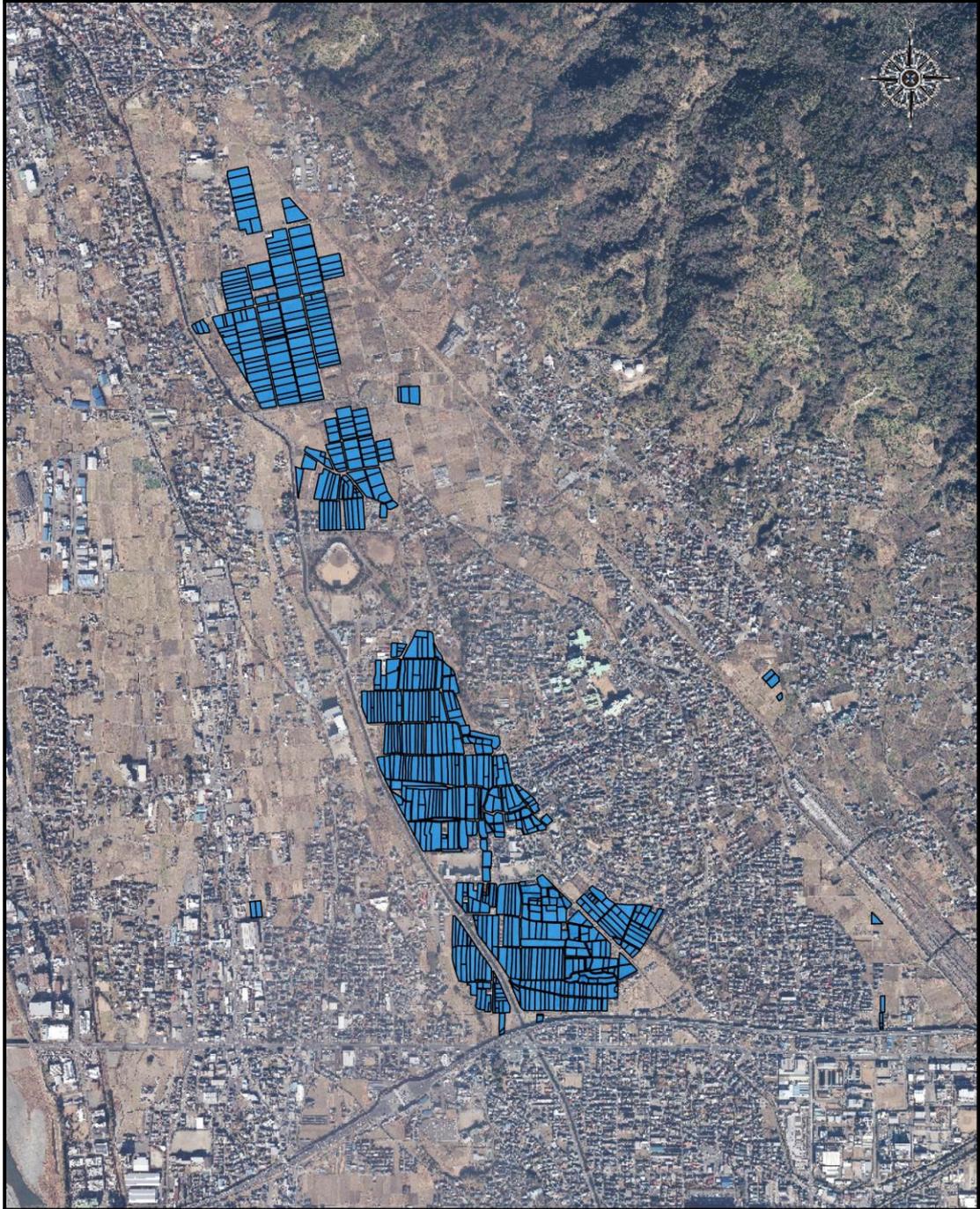
1 / 15,000

2022 年度



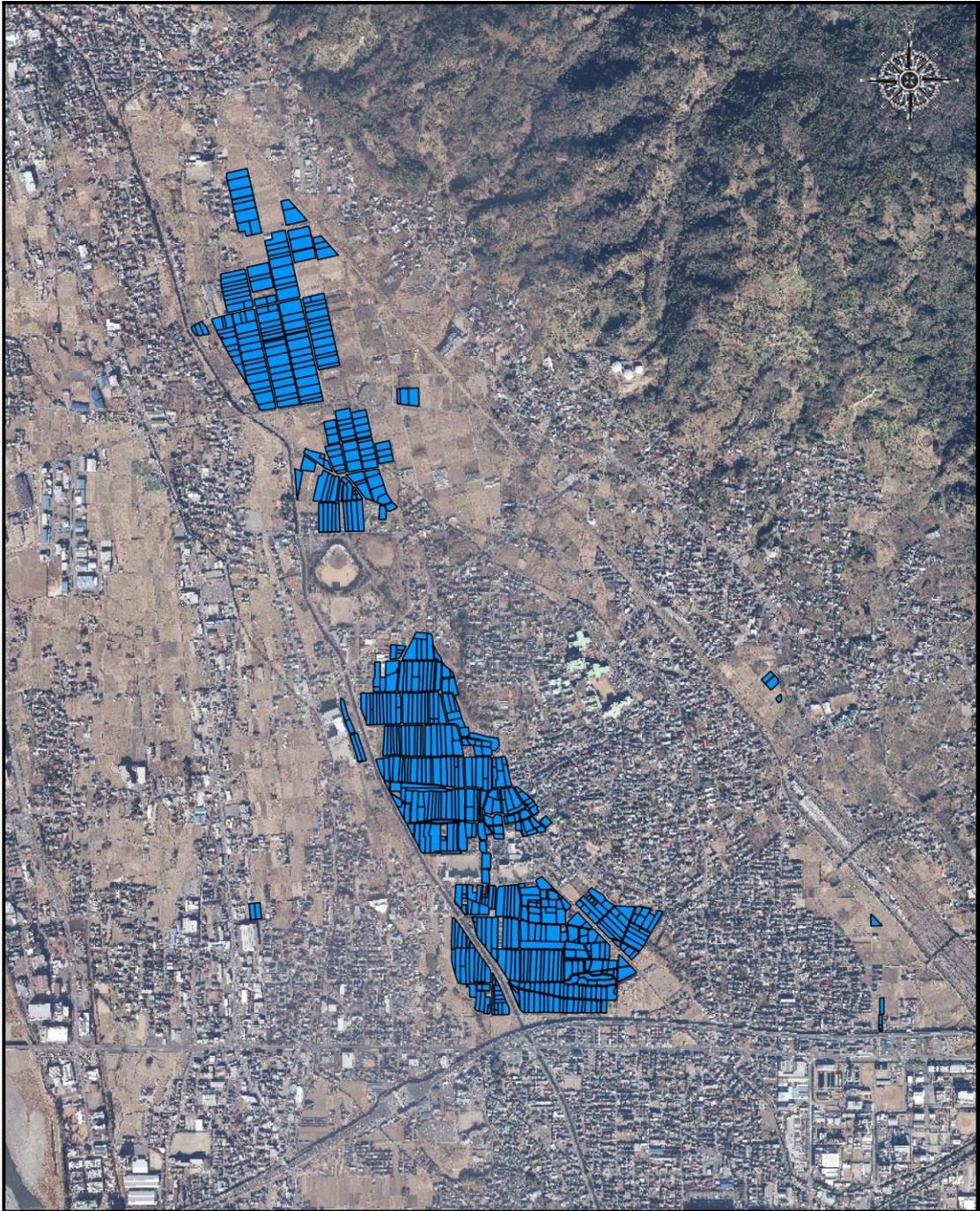
1 / 15,000

2023 年度



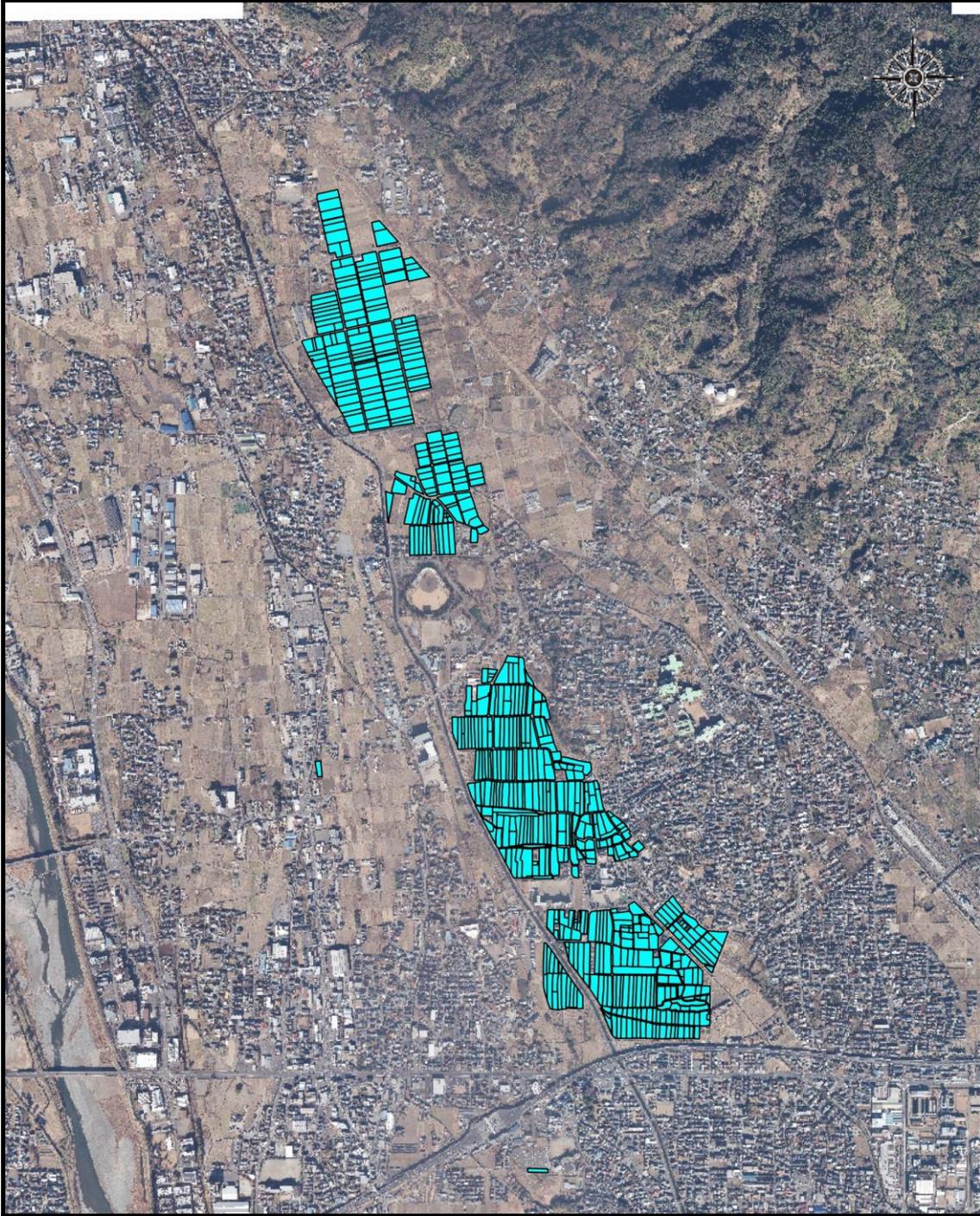
1 / 18,000

2024 年度



1 / 18,000

2025 年度



1 / 18,000

本市と1市5町の火災・救急・立入検査別の件数の比率の推移（直近5年間）

火災件数〔予防課〕

(年中)	合計	小田原市	比率(割合)	1市5町	比率(割合)
令和3年	90	62	68.9%	28	31.1%
令和4年	99	54	54.5%	45	45.5%
令和5年	96	53	55.2%	43	44.8%
令和6年	107	64	59.8%	43	40.2%
令和7年	93	58	62.4%	35	37.6%

救急件数〔救急課〕

(年中)	合計	小田原市	比率(割合)	1市5町	比率(割合)	管外	比率(割合)
令和3年	15,430	10,475	67.9%	4,936	32.0%	19	0.1%
令和4年	18,632	12,657	67.9%	5,960	32.0%	15	0.1%
令和5年	19,763	13,189	66.7%	6,545	33.1%	29	0.2%
令和6年	20,044	13,466	67.2%	6,554	32.7%	24	0.1%
令和7年	20,636	13,872	67.2%	6,747	32.7%	17	0.1%

立入検査件数〔予防課〕

(年度中)	合計	小田原市	比率(割合)	1市5町	比率(割合)
令和3年	1,134	547	48.2%	587	51.8%
令和4年	704	371	52.7%	333	47.3%
令和5年	1,024	607	59.3%	417	40.7%
令和6年	874	527	60.3%	347	39.7%
令和7年	845	423	50.1%	422	49.9%

※令和7年度については令和8年3月9日現在のデータです。

都市空間デザイン事業に係る決算額（令和7年度は予算額）と主な活動内容

【UDCOD収支決算】

収入の部

(円)

科目	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	令和7年度 予算額	備考
市負担金	4,570,000	4,000,000	14,000,000	
繰越金	0	359,111	176,000	令和7年度は予算額のため千円止め
雑収入	27	1,508	0	預金利息
合計	4,570,027	4,360,619	14,176,000	

支出の部

(円)

科目	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	令和7年度 予算額	主な活動内容
報酬	780,000	780,000	780,000	
事業費	1,605,600	2,065,427	12,150,000	
まちづくり研究活動	765,000	1,400,028	1,500,000	
アーバンデザインの研究 (小田原駅周辺地区)	410,000	533,980	500,000	<p>【目的】小田原駅周辺地区のまちの魅力の向上に向け、概ね20年後の望ましいまちの姿を研究する。</p> <p>【R5】市民参加のまちあるきとワークショップを開催し、地域の課題や魅力を再発見した。（まちあるき1回、ワークショップ3回）</p> <p>【R6】令和5年度の成果をもとに、望ましい姿を考える上で重要となる場所や要素について検討し、議論の素材とするため、概ね20年後の望ましいまちの姿のイメージパスを作成した。（公募市民・学生研究員を加えた研究会によるワークショップ8回、イメージパス作成）</p> <p>【R7】研究会によるイメージパスをもとに、まちづくりの方向性や戦略を議論するとともに、UDCODの役割を検討した。（研究会によるワークショップ5回、アーバンデザインセミナー2回、先進事例視察2回）</p>
都市の形成に関する研究 (板橋・国府津地区)	90,000	250,160	500,000	<p>【目的】昭和からのまちの変遷に着目し、地区の魅力や特徴を整理し、地域住民のまちへの愛着の醸成や今後の地域特性を生かしたまちづくりの参考とする。</p> <p>【R5】ワークショップや市民ヒアリングを実施し、古いまちなみの写真や当時のまちの様子など、研究の基礎資料を収集した。（ワークショップ1回、ヒアリング1回）</p> <p>【R6】基礎資料等を参考に、小田原の都市形成に重要な役割を果たしたと考えられる板橋地区の現地や文献を調査し、昭和のなりわいに着目したまちの変遷をとりまとめた。（現地調査2回、なりわいの変遷図の作成）</p> <p>【R7】令和6年度の成果をもとに、板橋地区の方を対象としたトークイベントを開催し、文献では分からない情報を収集するとともに、地区の個性を生かしたまちづくりを考えていただく機会とした。また、まちなみの変化が大きい国府津地区の調査を開始した。（トークイベント1回、国府津現地調査2回、板橋報告書作成）</p>
エイジフレンドリーシティの研究 (豊川地区)	265,000	615,888	500,000	<p>【目的】地域の主体的な取組による高齢者にやさしいまちづくりを目指す。</p> <p>【R5】地区の課題を整理するため、東海大学生による現地調査を行い、「自分らしく地域で暮らし続けていくためには何が必要か」をテーマとしたワークショップを開催し、自分事として高齢化社会の課題を捉える機会とした。（学生による現地調査1回、ワークショップ3回）</p> <p>【R6】課題の一つに挙げられた「高齢者の健康づくり・フレイル予防」への取組として、ワークショップの参加者から提案のあった「お散歩マップづくり」に係るプロジェクトを立ち上げ、ワークショップを開催し、マップに掲載するコースや地域の見どころスポットを話し合った。（ワークショップ2回、マップ作成4コース、エイジフレンドリーシティの取組に係る講演会1回）</p> <p>【R7】「認知症カフェロバのあし」や「豊川地区まちづくり委員会」の役員等が企画・実践した、「お散歩マップ」を活用したまち歩きへの支援を行った。また、豊川地区の要支援者の生活実態を調査している。</p>

科目	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	令和7年度 予算額	主な活動内容
まちづくり相談 ・まちづくり支援 (西海子小路周辺地区)	840,600	665,399	550,000	<p>【目的】UDCODが「まちの相談所」として、地域の課題解決等に取り組もうとする市民や団体の相談を受け、助言・提案・支援を行う。</p> <p>【R5】西海子小路周辺地区の地域住民へのヒアリングや街づくり座談会を通じて地域の資源や課題を把握するとともに、通り抜けができる路地や地面がむき出しの空間など、子供がワクワクするような地域の魅力を住民と共有した。(座談会3回、地域模型・調査記録冊子の作成)</p> <p>【R6】地域の祭礼等への参加や子供が宝物を探してくる体験型イベントの実施により、資源の更なる深掘りを行い、地域の魅力をあらためて共有した。(イベント1回、地域模型の更新・調査記録冊子の作成、旧松本剛吉別邸及び保健所跡地で活動報告会1回)</p> <p>【R7】これまでの取組に共感した地域住民の有志による地域の公共空間活用の取組が開始されたことから、その取組を支援している。(地域活動団体への取材や地域資源と子供が触れ合うワークショップ1回、旧松本剛吉別邸及び保健所跡地で活動報告会2回)</p>
まちづくり実践活動 (小田原城周辺地区)			10,100,000	<p>【目的】令和5年度から令和6年度の業務委託で実施したエリアマネジメントに係る取組をUDCODが引継ぎ、三の丸地区及びその周辺の公共空間活用に係る実証実験を通じて、公民連携による持続的なエリアマネジメントを実施する。</p> <p>【R7】常駐運営スタッフを配置し、小田原城周辺の史跡整備予定地等を活用する実証実験「ステキなみちくさ」(弁財天通り沿い史跡整備予定地・お堀沿いポケットパーク2か所・お堀沿いベンチ(206日間)、旧ハローワークの車庫をサンマルガレーズとして拠点整備し、フリーマーケットや飲食イベント、まちづくり団体の交流の場として活用する実証実験を開始。取組に参加した団体数(R8.2末時点32団体)</p>
情報発信	1,179,978	1,096,230	996,000	<p>【目的】UDCODの取組を周知し、アーバンデザインの考え方を知って頂くとともに、活動に取り組む参加者を増やす。</p> <p>【R5・R6】活動報告シンポジウム、活動報告書、SNSによる発信</p> <p>【R7】活動報告シンポジウム、活動報告書、SNSによる発信、広報小田原連載インタビュー</p>
事務費等	645,338	242,768	250,000	
合計	4,210,916	4,184,425	14,176,000	
繰越金	359,111	176,194		

【委託料】

(円)

科目	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	主な活動内容
エリアマネジメント 組織等構築支援業務	14,995,200	14,997,400	<p>【目的】多くの交流人口を有する三の丸地区において、活動中心エリア内若しくは近隣に日常的な地域とのコミュニケーションを可能とする事務所を設置し、当該事務所を拠点とした地域とのコミュニティ形成やまちづくりに参画するキーパーソンの発掘・コーディネートするとともに、点在する公共空間や既存ストックを活用し、地域経済の活性化や生活の質の向上等、更なるエリアの価値の向上を図るため、地域特性を生かした地域主体の活動とその持続的な推進を可能とするエリアマネジメント体制を構築する。</p> <p>R5の主な取組(実証実験) 現地事務所の設置、管理運営、拠点従事者2名の配置 ①学橋を活用したキックオフイベント(R5.10.25) ②公共空間活用のコンセプト検討に係る市民ワークショップ(3回) ③ステキなみちくさ冬(R5.12.16~20) 場所:お堀端通り沿いポケットパーク</p> <p>R6の主な取組(実証実験) 現地事務所の管理運営、拠点従事者2名の配置 ①ステキなみちくさ春(R6.3.22~4.8) 場所:弁財天通り沿い史跡整備予定地 ②ステキなみちくさ秋(R6.10.1~12.10) 場所:弁財天通り沿い史跡整備予定地</p> <p>【その他】 UDCODとの連携(シンポジウムへの参加等)</p> <p>【参考】 取組に参加した団体数 20団体</p>

子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）受入施設各住所、受入年齢、人数 開始から現在まで

- 1 受入施設
潤生園総合サービスセンター
- 2 住所
小田原市穴部 377
- 3 受入年齢
利用日時点で2歳以上18歳未満
- 4 受入人数
ショートステイ及びトワイライトステイ合わせて1日あたり最大6人
- 5 開始から現在まで実施している施設の数
1か所

病児・病後児保育事業を実施する事業所の名称、住所、利用年齢、利用定員、開始時期、利用者数

・病児保育事業

名称	医療法人社団 横田 小児科医院病児保育 室「JAMBO!」	小田原駅前病児保育 「ファイン・おだわら」	マナマーレ保育園 病児保育
住所	北ノ窪 460 リトル ガーデン 204	栄町 1-5-17 ヘルス ケアタワーおだわら 6階	中町 3-11-33
利用年齢	小学3年生まで	就学前児童	
利用定員	予約順に6名まで	予約順に3名まで	予約順に6名まで
開始時期	平成26年7月1日	令和2年7月1日	令和4年6月1日
利用者数	261人	141人	5人

・病後児保育事業

名称	宗教法人城前寺 城前寺保育園 病後児保育室「らっこ組」	社会福祉法人宝安寺社会事業部 病後児保育室「ほうあんりすの もり」
住所	曾我光海 20-1 2階	浜町 1-3-8 (小田原愛児園園舎内)
利用年齢	就学前児童	
利用定員	予約順に4名まで	
開始時期	平成18年7月1日	平成22年6月1日
利用者数	164人	29人

※利用者数は、令和7年4月1日から9月末日までの延べ人数としています。

※医療法人社団 横田小児科医院病児保育室「JAMBO!」については、現在
建て替え工事のため、代替施設で病児保育事業を提供しています。

教育相談指導学級（しろやま教室・マロニエ教室）、ことばの教室、
コミュニケーションの教室フレンド、中学校通級指導教室、
各利用者数の推移（令和2年度～令和7年度）

1 通級指導教室（ことばの教室、コミュニケーションの教室フレンド、中学校通級指導教室）の通級児童生徒数

(人)

年度	ことばの教室		フレンド			中学校通級	合計
	新玉小	下府中小	酒匂小	足柄小	千代小	白山中	
R2	31	22	23	24	33	16	149
R3	31	21	21	21	30	15	139
R4	35	25	21	31	32	16	160
R5	34	24	31	35	37	14	175
R6	30	31	33	32	32	30	188
R7	23	31	23	30	32	35	174

※各年度の4月時点

2 教育相談指導学級（しろやま教室・マロニエ教室）の通級児童生徒数

(人)

年度	しろやま教室		マロニエ教室		合計
	小学生	中学生	小学生	中学生	
R2	3	8	0	5	16
R3	4	7	3	6	20
R4	1	9	1	4	15
R5	0	11	0	8	19
R6	2	12	0	7	21
R7	2	9	0	5	16

※令和2年度から令和6年度までは年間の通級児童生徒数

※令和7年度は1月末日時点

校内支援室の設置状況と利用者数の推移（学校別）
（令和 6 年度～令和 7 年度）

（人）

	校内支援室設置校	令和 6 年度	令和 7 年度
1	豊川小学校	8	5
2	富士見小学校	7	9
3	三の丸小学校		3
4	芦子小学校		9

※令和 6 年度は令和 7 年 3 月末日時点

※令和 7 年度は令和 8 年 1 月末日時点